

本大会の開催においては、
下記のスポンサー企業・後援団体より
ご支援・ご協力頂いております。

● レンタルのニッケン

 **Husqvarna**

農林中央金庫

STIHL

 **PFANNER**

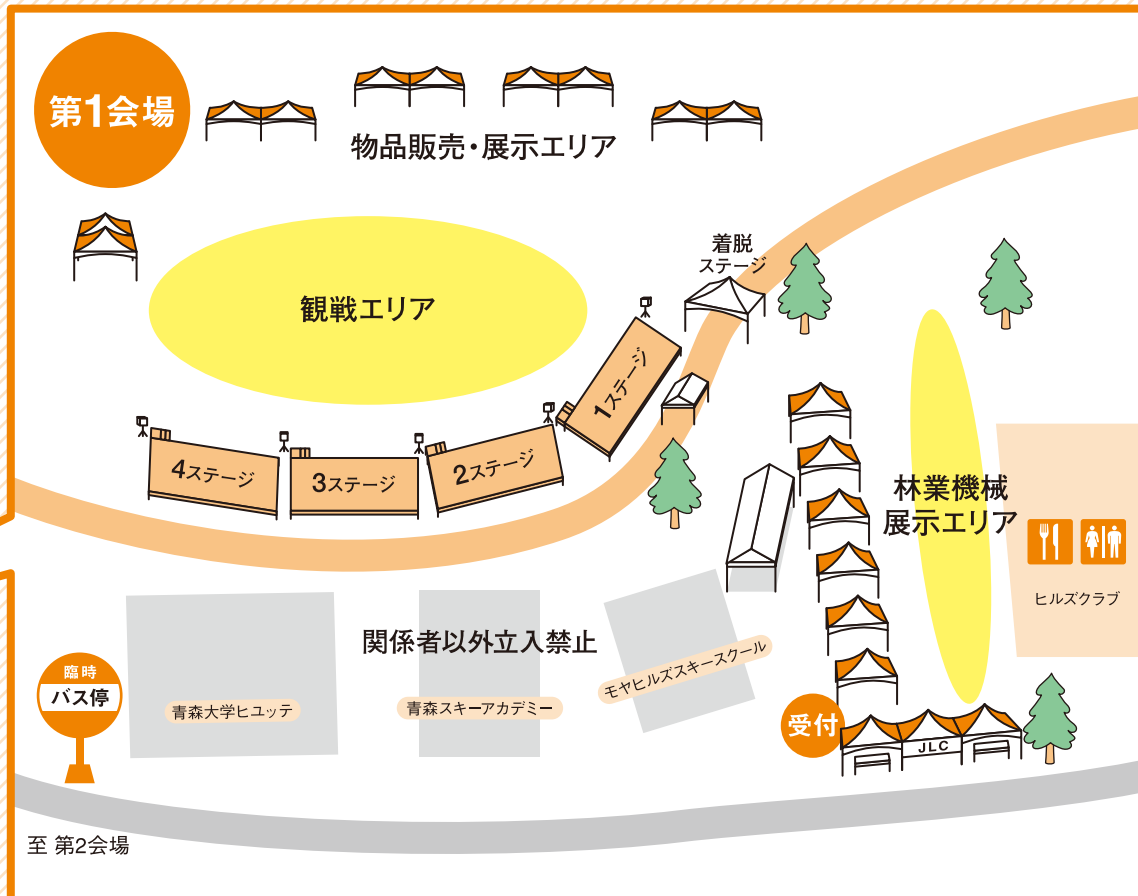
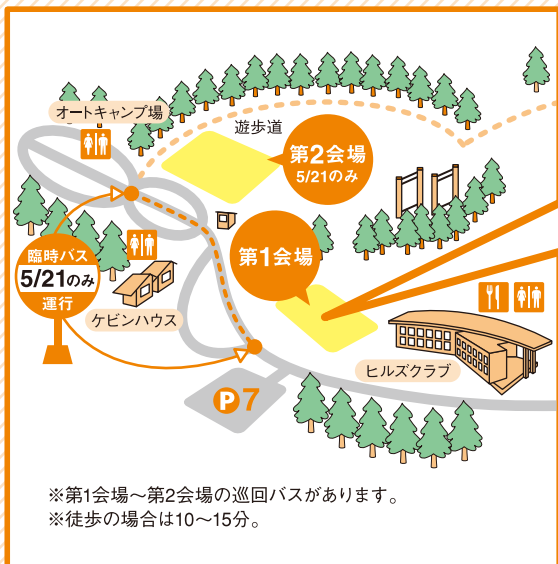
 **田島山業株式会社**

イワフジ工業株式会社／有限会社内田販売システム／株式会社ウッドランド
株式会社エス・ピー・ファーム／奥長良川名水株式会社
キャタピラーイーストジャパン株式会社／共栄火災海上保険株式会社
組合林業株式会社／株式会社光和／越井木材工業株式会社東日本SD部
松栄株式会社／JA三井リース株式会社／富国生命保険相互会社
株式会社マックス／三井住商建材株式会社／ヤナセ製油株式会社
山秀情報システム株式会社／株式会社リプロ

後援：林野庁 青森県 青森市 全国素材生産業協同組合連合会 林材業ゼロ災推進中央協議会
一般社団法人林業機械化協会 一般社団法人日本林業経営者協会
林業・木材製造業労働災害防止協会 日本林業技士会 一般社団法人全国林業改良普及協会
全国木材協同組合連合会 日本チェーンソー協会 株式会社日本政策金融公庫
認定特定非営利活動法人JUON(樹恩)NETWORK 特定非営利活動法人森づくりフォーラム
森林施業プランナー協会 青森県森林組合連合会 青森県グリーンマイスター協議会
一般社団法人青森林業協会 林業・木材製造業労働災害防止協会青森県支部
青森県木材協同組合 公益社団法人青森県緑化推進委員会 公益社団法人青森県林業会議
一般社団法人青森県林業コンサルタント 青森県林業改良普及協会 青森県治山林道協会
青森県山林種苗協同組合 一般社団法人日本森林林業振興会青森支部
青森県森林整備事業協同組合 青森県国有林材生産協同組合 一般社団法人青森林業土木協会
日本林業技士会青森県支部 公益社団法人あおもり農林業支援センター

主催：日本伐木チャンピオンシップ実行委員会
事務局：全国森林組合連合会 系統機械化情報センター
協力：モヤヒルズ
「緑と水の森林ファンド」助成事業(公益社団法人国土緑化推進機構)

会場マップ



大会スケジュール

5/21 土	9:00	開会式・競技開始 第1会場 第2会場 ソーチェン着脱 伐倒 丸太合せ輪切り 接地丸太輪切り
	16:00頃	初日終了
5/22 日	9:00	競技開始 第1会場 第2会場 枝払い なし
	13:00	全競技終了
	13:30	閉会式・表彰式

※21日の終了時間、22日の開会式・表彰式の開始時間は、競技の終了時間によって前後する場合があります。

▶ 出場選手(31名)

※ゼッケン番号は会場内の掲示板をご覧ください。※ゼッケン番号は5月20日の抽選会により決定しました。

No	氏名	都道府県	所属	No	氏名	都道府県	所属
	工藤 健一	岩手	工藤正工業		飛田 京子	東京	東京大学農学生命科学研究科
	坂口 学	佐賀	太良町森林組合		本多 公栄	岩手	岩手中央森林組合
	戸田 守	石川	山創		萩原 武彦	長野	信州上小森林組合
	先崎 倫正	青森	(有)マル先崎林業		片平 有信	静岡	片平報徳財団
	前田 智広	青森	(有)前田林業		井上 大輔	東京	(株)木林士
	今井 陽樹	群馬	多野東部森林組合		水出 健二	東京	(株)木林士
	佐藤 昭宏	岩手	(株)愛工大興		水出 力	群馬	(有)橋原愛林
	塚本 耕司	鳥取	鳥取県東部森林組合		下平 克秋	岩手	(有)丸大県北農林
	秋吉 一廣	熊本	(有)秋吉林業		保母 敏巳	長野	信州上小森林組合
	西嶋 強	石川	石川県森林組合連合会		武田 一吉	岩手	
	小松 雄治	北海道	(有)真貝林工		上野 貴史	富山	(株)島田木材
	小林 裕司	石川	山創		片岡 淳也	三重	大紀森林組合
	浅地 重嘉	石川	山創		西山 真	三重	大紀森林組合
	鈴木 靖宏	千葉	(株)北総フォレスト		福山 成宣	三重	大紀森林組合
	佐藤 博之	静岡	引佐町森林組合		岩永 大輔	佐賀	太良町森林組合
	加藤 一樹	石川	金沢森林組合				

第2回JLC 日本伐木 チャンピオンシップ

Japan Logging
Championships **2016**



JLC開催の目的

日本伐木チャンピオンシップ(JLC)は、下記の項目を目的として開催します。

- 林業技術及び安全作業意識の向上
- 林業の社会的地位向上
- 林業関係者・NPOなどの森づくりへの積極的な参加
- 新規林業就業者数の拡大など

また、本大会は2016年9月にポーランドで開催される世界伐木チャンピオンシップ(WLC)の日本代表選手(ジュニアクラス1名※1、プロフェッショナルクラス3名※2)を選出します。

※1 2016年12月末時点で24歳未満の方が対象 ※2 24歳以上の方が対象



JLCホームページ

<http://www.ringyou-goods.net/jlc/>

▶ 競技種目と評価基準

JLCはWLCのルールに準じて、伐倒、ソーチェン着脱、丸太合せ輪切り、接地丸太輪切り、枝払いの5種目で競われます。各種目ごとに設定されたポイントの総計で順位が決まります。

主なポイントの**加点**… 短時間、正確さ、質 など

主なポイントの**減点**… 安全規則を守らない (ペナルティ・ポイント) 木にダメージを与える など

※各競技種目の最低ポイントは0です。(マイナスポイントにはなりません。)

▶ 安全作業と安全保護具の装備

実際の林業現場と同様に安全を意識し、作業することが競技の評価に大きく反映します。

作業安全性の違反(チェーンソーが回っている間に歩くなど)は、減点(ペナルティ・ポイント)となります。

また、競技者は安全規則に従った装備で競技に臨みます。装着せずに競技を行った場合も同様に減点となります。

▶ チェーンソー使用時の装備

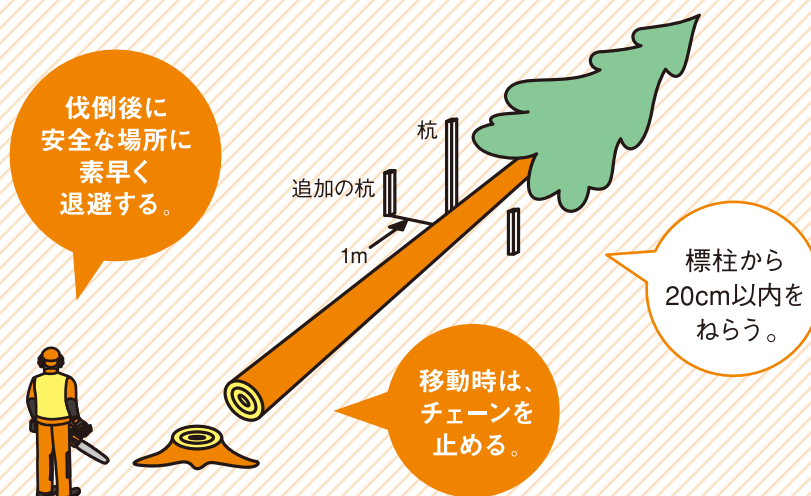


伐倒競技 Tree Felling

競技最高点: **660**点
(第1回JLC最高点: 612点)

競技のみどころ

スピード: ★☆☆
正確性: ★★☆☆



▶ 競技の解説

自分で定めた標柱(目印)にできるだけ接近して倒せるよう、3分以内に木を伐倒します(3分を超えると減点)。5種目の競技の中で最も配点が高く、安全作業を意識しながら正確性が求められます。林業の事故で最も多い“かかり木”(倒す木が隣の木などに引っ掛かってしまうこと)を防ぐことなどを想定して、狙った場所への正確な伐倒技術、伐倒後の退避が重要なポイントになります。

ソーチェン着脱競技 Fitting another chain

競技最高点: 約**120**点
(第1回JLC最高点: 99点)

競技のみどころ

スピード: ★★☆☆
正確性: ★★☆☆



▶ 競技の解説

チェーンソーからソーチェン(刃)を外し、ガイドバーの上下を入れ替えて取り付け、別のソーチェンを素早く装着します。チェーンソーで木を伐る技術だけでなく、普段のメンテナンスなどチェーンソーの構造を理解しておくことも必要になります。

続けて行う2競技(丸太合せ輪切りと接地丸太輪切り)の間はチェーンの調整ができないため、競技の際にソーチェンやバーカバー、ナットが外れた場合は、この競技の得点は0点になります。

接地丸太輪切り競技 Precision Bucking

競技最高点: 約**250**点
(第1回JLC最高点: 224点)

競技のみどころ

スピード: ★★☆☆
正確性: ★★☆☆



▶ 競技の解説

地面に接地している2本の丸太を上から垂直に30～80mmの厚さに切り出します。丸太が接地面の表面とどこで接しているか分からないように、接地面の上は薄くおが屑で覆われています。接地面が目で見えない為、日頃チェーンソーを使いこなし、その感覚を身に付けているかが問われる競技です。

丸太合せ輪切り競技 Bucking by Combined Cuts

競技最高点: **200**点
(第1回JLC最高点: 155点)

競技のみどころ

スピード: ★★☆☆
正確性: ★★☆☆



▶ 競技の解説

地面から7°に傾いた2本の丸太を垂直に上下から切り出し30～80mmの厚さに輪切りします。切り出す順番は下側から半分、残りを上側と順序が決まっており、赤いラインの中で合わせなくてはなりません。山という傾斜地では、傾いた状態で木を輪切りする作業になりがちな為、チェーンソーの角度を巧みに変えて、丸太を垂直に切る技術が試されます。

枝払い競技 Limbing

競技最高点: 約**450～460**点
(第1回JLC最高点: 362点)

競技のみどころ

スピード: ★★☆☆
正確性: ★★☆☆



▶ 競技の解説

6mの丸太にまっすぐ差し込まれた30本の枝をスピーディーに払って(切り落として)いく難易度の高い競技です。どの選手も共通のパターンで枝払いを競います。枝払いの跡が5mm以上残ったり、丸太に深さ5mm以上または長さ35cm以上の傷がつくと減点の対象となり、急げば急ぐほどミスが多くなる為、枝を正確に払うことが重要になってきます。